

基本目標 1



＝基本的方向性＝

本市の特徴的な産業である農業の振興とともに、新規企業の誘致、既存産業の活性化等により、多様な産業の振興を図る。
これにより、経済活動の活性化を進め、市民の雇用の場を創出する。

＝取組の評価（R4）及び今後の方針＝

地域経済の活性化を目指す取組として、工業団地の整備を進めてきた。南河田工業団地では、令和4年度には5区画全てで企業が操業を開始し、税収増加も期待できる。また、新たに市南部に位置する弥富インター北西部の工業団地造成計画は、更なる地域経済の発展に寄与する取組として推進していく。一方で、市内における新規雇用機会の創出という点では、企業誘致の取組だけでは増加に繋げることが難しい現状である。

商工会が主催するビジネスマッチングの多くの企業参加や、展示会などでの参加企業の商品PRの取組促進は、異業種企業の橋渡しに繋がり市内産業の活性化に寄与できたといえる。市としても商工会や関係機関と連携により地域産業の活性化を図っていく。

市内産業振興のため、中小企業者に対する支援について補助制度を整え、PRしている。

地域経済の担い手不足は、少子高齢化が進む中で深刻化している。女性の労働力率は伸びているが、引き続き子育てなどを理由に離職し、再就職に不安を抱える女性のための就職サポートとして無料相談の実施や将来の担い手となる大学生と高校生に向けた職場体験等を通して、働きたいと希望を持つ人が地域で活躍できる環境を整備していく必要がある。

●基本目標における数値及び常用業績評価指標（KPI）

指標					主な取組事項
新規就農者数（親元就農含む）					農業従事者の高齢化が急速に進展するなか、持続可能な力強い農業の実現に向け、青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、補助事業を行う。
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）	
40人	48人（累計値）	48人（累計値）	50人（累計値）	48人（累計値）	

指標					主な取組事項
事業所従業者数					工業団地地区計画区域内への企業立地の推進を目的に、事業所を新設する企業に対し、奨励金制度の具体的な説明を実施した。また、ビジネスマッチングを開催し、異業種同士の橋渡しをすることで、取引先などの新規開拓や新事業進出により市内事業者の取引増加や市内産業の活性化につなげた。
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）	
17,391人 （H28年度）	17,391人 （H28年度）	17,704人 （R3年度）	17,704人 （R3年度）	18,000人	

施策1-1

新規企業の誘致・ 新サービスの育成

- ・誘致計画の検討・工業団地造成
- ・工業団地事業所新設企業の奨励
- ・展示会等参加による企業誘致活動
- ・起業、第二創業に対する支援

＝取組事項（R4）＝

- 南河田工業団地においては、全区画（5区画）が稼働している。更なる地域経済の活性化を図るため、新たに市南部の弥富インター北西部において工業団地造成の計画を進めていく。
- 市民の雇用機会の創出を目的として奨励措置（建物賃借型雇用促進奨励金）を整備している。
- 展示会等参加回数（R元年度からの累積）
【R3】20回【R4】22回
- 第二創業者に対し経営課題解決の提案を行った。
経営課題支援件数
【R3】31件【R4】34件

指標				
工業団地に立地する企業数				
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）
0企業	2企業（累計値）	2企業（累計値）	5企業（累計値）	5企業（累計値）

指標				
工業団地内新規企業における新規地元雇用者数				
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）
0人	3人（累計値）	4人（累計値）	7人（累計値）	120人（累計値）

施策1-2 既存産業の活性化

- ・企業訪問 ・小規模企業等振興資金保証料補助
- ・小規模企業等振興資金融資預託
- ・市内産業振興のための体制整備
- ・異業種交流、ビジネスマッチング機会の提供

指標				
企業訪問件数				
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）
42件	45件（累計値）	49件（累計値）	54件（累計値）	126件（累計値）

指標				
融資件数				
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）
31件	6件	3件	7件	40件

指標				
製造業従事者数				
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）
4,490人	4,285人	3,749人（R3）	3,749人（R3）	4,650人

＝取組事項（R4）＝

●愛知県産業立地セミナー（大阪・東京）に参加し、用地及び優遇制度等の案内を行った。市内外企業を訪問し、事業活動支援を行うことで、企業の流出防止及び誘致を図った。また、情報交換を実施する中で、地域住民の雇用について働きかけるとともに、企業から得た情報を、その後の施策検討に活用した。

●小口資金の融資を受けた小規模企業の経営の安定を図るため、小規模企業等振興資金保証料補助金を交付した。

【R3】3件【R4】7件

●小規模企業の負担軽減を図り、経営の安定と、産業振興のため、小規模企業等振興資金の融資を行う金融機関に対して融資預託を行った。（8行13支店）

●新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者に対し、振興・支援のための補助制度をPRした。また、臨時交付金を活用し、6か月分（R4.8月～R5.3月。内R5.2・3月分はR5年度）の水道基本料金を免除・補助した。

●ビジネスマッチング参加企業数

【R3】中止（コロナの影響）【R4】50社

●国、県、金融機関、各種団体等が主催する展示会への参加を促した。

●臨時交付金を活用しプレミアム付愛西商品券事業を実施した。

施策1-3 愛西市の特徴を 活かした農業振興

- ・農業近代化資金利子補給補助 ・転作作物の助成
- ・畑作振興補助 ・環境保全型農業直接支援対策
- ・農地の多面的機能の確保

指標				
新規就農者数（新規就農者の内【農業次世代人材投資資金（経営開始型）】の交付を受けた者）				
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）
5人	5人（累計値）	5人（累計値）	7人（累計値）	6人（累計値）

指標				
「愛西市ぐるぐる農産物」のラベルを貼った販売農家数				
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）
23戸	23戸	23戸	23戸	30戸

指標				
多面的機能活動対象農地面積				
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）
1,299ha	1,338ha	1,450ha	1,407ha	1,450ha

＝取組事項（R4）＝

●経営リスクを負っている新規就農者の経営が軌道に乗る間を支援するため、就農直後（3年以内）の所得を確保する経営開始資金を2名に交付した。うち、市内在住の方1名に市単独の新規就農支援交付金を交付した。

●市内の小学校（2校）で農業に関する出前授業を行った。モリコロパークで蓮根を使った加工品などの直売会を行った。

●「あいさい野菜メニュー提供店」について、市内飲食店への事業説明を行い、新たに1店舗の応募を受け付けたが、1店舗メニュー提供不可となったため合計13店舗となった。認定を受けた店舗の周知のため、地域のPR誌への掲載や、店舗を巡るスタンプラリーを実施した。

スタンプラリー参加人数

【R3】138人【R4】178人

●農地の環境整備への市民参画を積極的に進めるため、活動組織の交付対象面積に基づき多面的機能支払交付金を交付した。令和2年に発足した広域組織が新規組織を取込拡大したため、引き続き支援した。活動終了組織へ活動継続のため、再認定の支援を行った。

施策1-4
地域経済の
担い手の確保・育成

- ・女性への就労支援事業
- ・障害のある人の雇用促進
- ・農福連携の活動支援
- ・外国人材の活躍促進
- ・地元企業との連携による大学生、高校生の地元

指標				
25～44歳女性の労働力率				
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）
77.8% （H27年度）	77.8% （H27年度）	81.6% （R2年度）	81.6% （R2年度）	78%

指標				
障害がある人の一般就労移行者数				
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）
8人	8人	—	—	10人

指標				
国際交流事業参加者数				
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）
364人	205人	238人	200人	500人

＝取組事項（R4）＝

●男性の家事参加をテーマに講演会を開催し43名が参加した。男女共同参画に関し広報紙への掲載、啓発パネルの展示により啓発を行うほか、女性の就労相談を2回行った。

広報紙への啓発回数

【R3】3回【R4】6回

●愛西市障害者地域生活支援センター事業は、障害福祉サービスの充実に伴い、就労支援に関するサービスや事業所が増加したため、R2年度に事業廃止としたが、障害者に就労移行支援事業所や障害者就業・生活支援センター等の利用を勧め就労を支援した。

●新型コロナウイルス感染症の影響を受け Zoom ミーティングを活用していた日本語教室を、令和4年度は対面で開催した。

実施日数

【R3】18日（内Zoomミーティング12日）【R4】27日

基本目標2

あいさいの魅力を発信し、
ひとの流れをよびこむ

行ってみた



＝取組の評価（R4）及び今後の方針＝

観光展などへのあいさいさん出演や物産販売、海部地域の観光協会及び市町村と連携した観光PRを進めるとともに、ふるさと応援寄附金については、更なる返礼品の充実に向け、大手企業とのコラボに向けた協議を実施した。この結果、本市の魅力発信の機会が増加し、認知度向上を図ることができた。道の駅再整備を進め、市の最大の観光拠点としてにぎわい創出、交流人口・関係人口の創出を図っていく。

移住・定住促進施策としては、当市に転入し新生活を始める新婚世帯を対象とした住居費等の一部を助成する新婚世帯居住費等支援補助金を県内で先駆けて制度化し、当市への移住に対するインセンティブとしている。加えて、市民の足となる巡回バスの運行や公共下水道整備、都市公園や水道の維持管理運営を行うことで、より便利で快適な住環境を整えることができたと考えられる。

本市の人口移動は、子どもの小学校入学を機に転入してくるという傾向があるため、引き続きUIJターン、移住したいと思えるまちづくりに努めていく。

＝基本的方向性＝

本市の自然資源、歴史・文化資源と地理的優位性を活かし、観光誘客を図る。

また、まちの魅力発信や、暮らしやすさ・安全性を重視した環境整備により人を呼び込み、転入者の増加を図る。

●基本目標における数値及び常用業績評価指標（KPI）

指標					主な取組事項
人口移動数 30～39歳⇒35～44歳（5年間の移動）					
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）	市のPR事業や子育て施策の結果、当該年齢区分の人口移動数はプラスとなっている。進学・就職を契機に市外へ転出し、子どもが小学校進学くらいの子育て世帯が転入してくるという市の傾向から、今後も若い世代や子育て世代に選んでもらえるまちづくりが必要である。
102人（H22→H27）	102人（H22→H27）	151人（H28→R2）	151人（H28→R2）	105人	

指標					主な取組事項
道の駅の来場者数					
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）	新型コロナウイルスの影響及び施設の老朽化・生産農家の減少で客数は減り、再整備事業を進める中、改修工事のため店舗（1か所）が稼働していないことにより売上も減少したが、地域の産業振興及び地域の活性化の拠点として運営することができた。 総売上額【R3】318,180,533円 【R4】316,530,509円
218,439人	204,402人	191,372人	190,081人	280,000人	

施策2-1

愛西市の魅力発信と観光発信

- ・案内機能の充実 ・道の駅 ・木曾三川と道の駅を活用した観光拠点整備
- ・市内観光資源の集約と発信体験型学習による観光振興の推進 ・観光ボランティアの育成
- ・マスコットキャラクター「あいさいさん」及び「あいさいちゃん」による情報発信
- ・観光における広域連携 ・ふるさと応援寄附金・ホームページ等でのプロモーション

＝取組事項（R4）＝

●愛西市への応援を寄附金という形で募り、市の施策に有効活用した。また、寄附者に対し返礼品の送付に併せてお礼状、市公式SNSのチラシを送付し市のPRを行った。

寄附金額【R3】72,835,000円 【R4】103,679,000円

●あいさいさんのイベント出演、物産販売回数

【R3】7回【R4】3回

●「X」・「Facebook」・「Yahoo! 暮らし」の運用を開始し、「LINE」・「YouTube」と併せて市政情報や市の魅力を配信した。

指標				
ふるさと応援寄附者数				
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）
503人	1,090人	2,611人	3,542人	700人

施策2-2 移住・定住の促進

- ・Uターン者等を対象とした移住
- ・企業支援事業
- ・住宅地開発サポート ・空家等対策

指標				
転入者数				
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）
1,831人	1,866人	1,777人	2,213人	1,900人

＝取組事項（R4）＝

●結婚に伴う新生活を経済的に支援し、安心して暮らせるよう新婚世帯居住費等支援補助金を交付した。

交付件数 R4【住居費（取得）】20件

【住居費（賃貸）】16件

【引っ越し費用】3件

●東京23区に在住または、通勤する者が本市へ移住した場合に給付する経済支援対策を整備している。（申請なし）

施策2-3 市の居住価値を 高める環境整備

- ・巡回バス運行 ・民間木造住宅耐震 ・都市公園等整備・維持管理
- ・駅前広場等整備・維持管理 ・水環境整備 ・公共下水道整備
- ・農業集落排水機能強化 ・合併処理浄化槽等設置整備
- ・生ごみ処理槽及び家庭用生ごみ処理器設置補助
- ・地球温暖化対策設備導入促進 ・道路等の整備・維持管理

指標				
巡回バス利用者数				
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）
123,180人	65,100人	77,479人	78,650人	124,000人

＝取組事項（R4）＝

●公共施設、店舗、公共交通機関等への移動手段の一助として、市内の各地区での巡回バスを継続して運行した。

【内訳】

R3【4地区巡回バス】58,527人【海南ルート】6,573人

R4【4地区巡回バス】70,412人【海南ルート】8,238人

●民間木造住宅耐震診断事業30棟、民間木造住宅耐震改修費補助事業1件、木造住宅除却工事費補助金交付事業15件の補助を行った。（民間木造住宅耐震シェルター等設置費補助事業については、申請なし。）

●都市公園を含む公園施設の維持管理業務を行った。

道の駅周辺への都市公園設置に向け、必要な用地の取得を行うとともに、園路・広場・花はす田・築山・駐車場等の実施設計を行った。

●汚水適正処理構想に基づき、汚水処理の広域化・共同化計画に係る取組メニューを決定した。また、社会資本整備総合交付金の交付を受け、公共下水道事業管路施設工事等を実施した。

【R4】管路施設工事11本、舗装復旧工事1本、

その他工事46本

公共下水道整備面積

【R3】416.8ha【R4】436.0ha

●道路の舗装修繕及び橋梁点検・修繕を計画的に行なった。市道108号線の道路改良事業を推進し、市道2号線及び市道22号線の舗装修繕工事を行った。また橋梁149橋（委託51橋・直営98橋）を点検し、2橋（梶島橋・無名橋1009）の補修工事を行った。

指標				
耐震化率				
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）
72%	72%	73%	73%	78%

指標				
都市公園における人口1人当たりの供用面積				
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）
8.4㎡	8.6㎡	8.8㎡	8.8㎡	9.8㎡

指標				
汚水処理人口普及率				
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）
83.2%	85.2%	86.8%	87.6%	93.5%

指標				
市道の改良延長				
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）
333km	336km	337km	337km	337km

基本目標 3



＝基本的方向性＝

結婚、妊娠・出産、子育てにいたるまでの切れ目のない支援体制を構築し、合計特殊出生率の上昇と出生数の増加を図る。

＝取組の評価及（R4）び今後の方針＝

新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっていた婚活イベントをあいち海部農業協同組合と協力して実施したことや、全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境整備に向けて、伴奏型の相談支援と経済的な支援を実施したことは、数値目標である出生数や18歳未満の子どもの人数がすぐに増加に転じることはなかったが、将来的な人口の確保、安定した人口構成を実現するための施策として有効であると評価しており、引き続き積極的に展開していく。

また、発達支援センターの開所や養育支援訪問事業、発達障害児相談支援、DV・虐待相談など、子どもや子育て家庭の多様なニーズに対し多面的で的確な支援が行き届くよう取り組んでいる。

これらの本市の特色ある子育て施策について、子育てポータルサイトやホームページなどにおいて積極的に情報発信しており、引き続き、切れ目ない子育て支援により安心して子育てしやすいまちづくりを進め、持続可能な人口の確保と安定した人口構成の実現に繋げていく。

●基本目標における数値及び常用業績評価指標（KPI）

指標					主な取組事項
出生数					保護者の経済的負担を軽減するため、18歳になる年度末まで医療費（入通院）の無償化、出産期や子育て期に応援ギフト（各5万円）の支給、保育園・幼稚園等に通園する3歳以上の児童の副食費に対する3,500円を上限として補助（R4.7～R5.3は臨時交付金を活用し月額4,500円）を実施した。
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）	
326人	332人（R1年）	273人（R2年）	324人（R3年）	353人	
18歳未満の子どもの人数					妊娠中から子育て期までの切れ目のない支援、健康診査や相談支援、訪問事業、あいさいっ子相談室の運営、ファミリー・サポート・センター事業など地域で安心して子育てができる取組を展開した。
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）	
9,296人	8,769人	8,599人	8,395人	7,700人	

施策3-1

結婚サポートを望む人への支援

- ・「婚活」への支援
- ・農婚イベント
- ・「愛妻」キャンペーンの展開

＝取組事項（R4）＝

●あいち海部農業協同組合と協力して、婚活イベントを実施した。

支援した農婚パーティー回数

【R3】0回（コロナにより中止）

【R4】1回、参加者21名、成立カップル1組（市外）

指標				
支援した婚活イベント回数（累計）				
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）
9回	9回	9回	10回	22回

施策3-2 妊娠・出産・子育て 支援の充実

- ・中学生への妊娠に対する正しい知識の普及啓発
- ・一般不妊治療及び未熟児養育医療費助成
- ・母子保健事業・母子保健推進員活動 ・子育て世代包括支援センター
- ・子育て世帯への経済的支援 ・子育て支援拠点 ・子育てポータルサイト
- ・児童館・子育て支援センター ・延長保育 ・一時預かり事業（余裕型）
- ・児童クラブ ・ファミリーサポートセンター ・ワークライフバランス促進
- ・子育てお助け隊 ・Aisai・ママ・マルシェ

指標				
3歳児健康診査において子育ての相談相手がいるひとの割合				
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）
97.5%	96.7%	97.6%	97.1%	99%

指標				
ファミリー・サポート・センター会員数				
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）
622人	637人	662人	716人	630人

指標				
子育てポータルサイトの登録者数				
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）
184人	1,316人	1,433人	1,573人	1,400人

指標				
児童館・子育て支援センターの利用者数				
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）
166,465人	121,961人	126,884人	139,250人	167,500人

施策3-3 様々な子育て家庭 への支援

- ・児童発達支援センター
- ・養育支援訪問 ・DV・虐待相談
- ・発達障害児相談支援 ・準要保護児童生徒就学援助

指標				
子育てで相談できる人がいる割合（養育支援訪問事業）				
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）
100%（H29年度）	75%	50%	100%	100%

＝取組事項（R4）＝

- 18歳になる年度末まで医療費（入通院）の無償化を実施。
- 妊産婦及び乳幼児健康診査、相談支援、訪問事業、歯科事業、健康教育を実施。
- 令和5年3月より妊娠8か月前後と、生後2か月の時期に面談を実施する伴奏型の相談支援と経済的な支援を一体として実施する出産子育て応援事業を開始した。
- ファミリーサポートセンター事業について、登録会員等に対して、研修会を開催するとともに、事業の周知を図り、提供会員数の増加に努めた。
- 児童館や子育て支援センターなどで開催されるイベント等の子育てアプリ掲載内容の充実支援を行い、広く周知を図った。
- 児童健全事業として市内全小学校区で児童クラブを運営した。（12か所・13児童クラブ）
- 民間で運営する児童クラブに補助金を交付した。（4児童）
- ひとり親家庭等を対象に児童クラブ利用料を助成した。
- 一般不妊治療費助成
【R3】29組【R4】17組
- 未熟児養育医療費助成
【R3】10人【R4】12人
- 初妊婦への訪問・電話による状況把握率
【R3】88%【R4】84.5%
- 乳児への訪問・電話による状況把握率
【R3】90.2%【R4】99.2%
- 子育てお助け隊登録者数
【R3】12人【R4】18人
- 子育て世代の経済的な負担を軽減するため、臨時交付金を活用し新生児応援給付金（新生児1人に10万円を支給）を交付した。また、保育所等及び小中学校の給食費に対する補助を行った。

＝取組事項（R4）＝

- 令和4年7月に発達支援センターを開所し、児童発達支援事業、保育所等訪問支援事業、相談支援事業を開始した。
 - 養育支援訪問員により3件の家庭に延23回訪問を実施。ケース検討会は2回実施。
 - 4月から「こども家庭総合支援拠点」を設置し、虐待等の相談に対してより専門的な支援や継続的支援を行った。
- 相談件数
【R3】68人 【R4】79人

施策3-4 次世代の愛西市民を 育む

- ・環境教育の推進 ・土曜日の教育活動推進事業
- ・子どもの心の健康づくり ・学校・家庭・地域がつながる健康教育
- ・家庭教育推進事業 ・地元企業と連携した体験活動
- ・次代を担う世代との協働による地域課題解決提案
- ・生涯学習推進事業 ・文化・芸術の振興
- ・スポーツ機会の充実

指標				
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合				
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）
76.3%	76.6%（R1年度）	73.1%	76.4%	100%

指標				
学校が楽しいと思う児童生徒の割合				
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）
82.7%（H28年度）	82.7%（H28年度）	85.4%（R3年度）	85.4%（R3年度）	87%

指標				
子どもの心の健康づくり事業実施率				
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）
100%	77.3%	74.1%	100%	100%

指標				
生涯学習講座・教室の参加者数				
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）
3,388人	1,180人	1,563人	1,948人	3,500人

＝取組事項（R4）＝

●職場体験活動を通し、人としての生き方を学び、働くことの意義を理解し、自己の生き方について考え、実践することのできる児童生徒の育成を図った。

- 「十歳の集い」をすべての市内小学校にて実施。
- 市内全中学2年生を対象にいのちの授業を実施。
- 子どもの心の健康づくり事業推進実行委員会を2回開催。
- 身近に生息する生物について保全の気運を高めるため、木曾川・長良川背割堤で野鳥観察会を実施。

親子参加数

【R3】19人【R4】14人

●あいさい土曜キラリ☆学習を開催。

【R3】17教室（192人）【R4】21教室（244人）

●あいさい土曜チャレンジ☆教室を開催。

【R3】2教室（15人）【R4】2教室（10人）

●清林館高等学校生徒が地域課題に対し生徒の視点から当該課題の現状を考察し解決に繋がる提案を行う活性化プロジェクトを実施した。

●市民の学習ニーズに対応する機会の提供として公民館・文化会館講座を実施。

【R3】コロナにより実施なし

【R4】佐織地区公民館21講座、永和地区公民館4講座、文化会館37講座

●文化祭を新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、一部内容を縮小して開催した。

参加者数

【R3】コロナにより中止

【R4】（作品）763人（芸能）463人

基本目標 4



＝基本的方向性＝

人口減少、少子高齢化への対応を図るとともに防災対策、市民のまちづくり活動の活性化を進め、生涯にわたって安心して暮らせるコミュニティをつくる。

＝取組の評価（R4）及び今後の方針＝

超高齢社会への対応として、高齢化に伴う医療費・介護保険給付費等の高騰を防ぐための健康診査・がん検診の受診勧奨は、対象者のタイプに合わせた受診勧奨通知を行う工夫をしたことで、受診率をアップさせることができた。これは、病気予防、病気の早期発見に繋がると言え、評価できる。今後も市民の健康寿命の延伸のため、スポーツ活動の推進や高齢者を支える体制を進めていく。高齢者を支える体制は、認知症サポーター養成講座を実施し、認知症ボランティアを養成している。年々サポーター数は増加し、「誰もが暮らしやすい地域」へ一歩ずつ近づいていると言える。

本市は合併に伴い公共施設を多数所有しており、今後も維持管理や修繕などの膨大な費用が発生する。人口減少を踏まえたまちづくりを推進していく中、愛西市公共施設等個別施設計画に基づき公共施設等を適正に配置していく。

安全・安心なまちの実現に向け、コミュニティ単位での自助共助の機能強化は重要である。防災活動で連携した活動団体の割合が年々上昇していることは地域防災力向上に繋がっていると言える。今後も防災情報に関し多様・多重に発信することにより市民の防災意識を高めていく。さらに、本市に愛着を持つ市民が主体となって地域課題解決に対応できるよう、伝統文化の継承やコミュニティ形成を進めていくための仕組みづくりを促進していく。

●基本目標における数値及び常用業績評価指標（KPI）

指標					主な取組事項
自主防災連合会で活動した自主防災会の割合					自主防災会同士が連携した訓練を実施した。（勝幡地区・市江地区・永和地区・町方町・立田地区・西川端） また、新型コロナウイルス感染症対応として「感染症対応受付訓練」、「屋内用テント組立訓練」を実施する団体もあった。
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）	
40%	31.8%	19%	52.5%	70%	

指標					主な取組事項
生きがい・目標を持っている高齢者の割合					高齢化社会への対応として、介護予防、日常生活支援総合事業において多様なサービスを提供、特定健康診査の費用の負担を軽減し、受診促進に努め、生活習慣病の早期発見を促す。今後も引き続き、幅広い世代に対する活動を推進することにより、健康で生き生きと暮らし続けられるまちづくりを目指す。
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）	
58.2%（H28年度）	58.2%（H28年度）	76.1%（R3年度）	76.1%（R3年度）	80.5%	

施策4-1 これからの高齢社会 への対応

- ・健康診査及びがん検診・健康教育 ・健康マイレージ事業
- ・健康なまちづくり事業 ・生涯にわたるスポーツ活動の推進
- ・高齢者を支える体制づくり ・認知症対策の推進
- ・高齢者見守り訪問

＝取組事項（R4）＝

●生活支援体制整備として市と社会福祉協議会に1名ずつ、佐屋・立田・八開・佐織地区に1名ずつ生活支援コーディネーターを配置。生活支援サポーター養成講座および運転ボランティア養成講座を実施し、担い手を育成。住民主体による訪問型・通所型サービスに対して補助により活動を支援。

補助件数【R3】訪問283件、通所5,412件
【R4】訪問344件、通所6,027件

●健診の受診率を上げるため、タイプ別の受診勧奨通知を実施。健康の保持増進のため、結果説明会を5回実施（R3はコロナにより中止）。特定保健指導を集団及び個別で実施。個別指導においては、指導を受け易くするため指導場所や指導方法の選択肢を拡充した。

●健康マイレージ参加者実人数【R3】869人【R4】918人
●運動習慣を身に付けるための支援事業の実施
参加者【R3】新規37人、継続者273人
【R4】新規15人、継続者213人

●権利擁護支援センター開所に向けて、準備を行った。

●認知症サポーター数【R3】3,706人【R4】3,780人

指標				
多様なサービスが提供できる実施機関の数				
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）
9か所	13か所	22か所	20か所	30か所

指標				
特定健康診査受診率				
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）
41.8%	33.8%	42.8%	42.6%	60%

施策4-2 人口減少を踏まえたまちづくりの推進

- ・ 公共施設等マネジメントの推進
- ・ 「集約型まちづくり」の推進
- ・ 未来技術を活用した地域形成の推進
- ・ 空家等対策

＝取組事項（R4）＝

● 発達支援センターの開所などにより公共施設の延床面積は増加した。公共施設等の現状把握及び修繕計画の見直しを行った。

● 空家等対策協議会1回開催。空家等対策庁内調整会議1回開催。空家等対策庁内調整会議作業部会1回開催。危険空家除去費補助金2件適用。相続財産管理人選任申立て1件。不在者財産管理人選任申立てを実施1件。その他空き家の適正管理に関する助言指導等を実施。

指標				
公共施設の延床面積				
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）
224,257㎡	223,169㎡	221,982㎡	222,969㎡	211,000㎡

指標				
管理不全な空家の改善件数（件／年度）				
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）
14件	29件	36件	37件	15件

施策4-3 安全・安心な暮らしづくり

- ・ 通学路交通安全対策プログラム
- ・ 地域防災力向上支援
- ・ 消防施設等整備
- ・ 消防団応援事業
- ・ 防災等情報メール等配信システム運用委託
- ・ 災害に強い配水管整備
- ・ BCP策定
- ・ 防災機能を有する公園等の整備
- ・ 位置付け

＝取組事項（R4）＝

● 下水道工事に伴う水道移設等工事を含め6工事を実施。

● 耐震性貯水槽の新規設置に向けて、適切な候補地について検討中。

● 消火栓の新設整備事業として、地下式消火栓を町方町及び大野町地内に各1基整備、修繕工事として町方町地内既存簡易消火栓1基の口径変更し、水利の充足を図るとともに、維持管理に務めた。

● 消防団応援事業に協力する事業所について、閉店により登録事業所は減少した。目標数値を達成するため今後も協力依頼を進める。

● 市民に対し、防災情報等を携帯電話等に配信し災害への備えや緊急時の情報提供を行った。また、職員参集システムにより、災害時における職員の安否確認及び参集可否を確認し、災害対応力の迅速化と向上を図った。

【R4】防災メール配信数 246件

● すべての地区において通学路合同点検を実施し、必要に応じて、学校と協議の上、改善を行った。

● 臨時交付金を活用し、感染症対策としてアイソレーションフードを配備し、新型コロナウイルス感染者の救急搬送時において職員への感染を低減するとともに、コロナ禍においても市民からの救急養成に対し円滑な救急活動を可能とする環境整備を行った。

指標				
配水耐震管延長距離				
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）
12,476m	14,697m	15,671m	18,181.2m	26,900m

指標				
耐震性貯水槽設置数/消火栓設置数				
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）
52箇所/ 993箇所	52箇所/ 1,003箇所	52箇所/ 1,005箇所	52箇所/ 1,008箇所	53箇所/ 1,021箇所

指標				
消防団応援事業に協力する事業所数				
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）
40事業所	50事業所	50事業所	48事業所	52事業所

指標				
防災メール等の登録者数				
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）
9,018人	10,746人	10,907人	11,196人	12,000人

施策4-4 ふるさとの伝統・ 文化の継承

- ・尾張津島天王祭市江車行事
- ・文化財の保存・継承
- ・ふるさと意識を醸成するための取組の推進

指標				
地域の伝統行事や民俗芸能の継承に寄与する団体数				
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）
5団体	5団体	5団体	6団体	5団体

指標				
講座参加アンケートによる満足度				
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）
84%	89%	86%	84%	85%

＝取組事項（R4）＝

●文化財講座「鉄道」全9回（定員30名）、歴史講演会「海部地域の村役人の読書とネットワーク」「村役人のお仕事」（288名参加）、企画展「市江車行事のひみつ」「あいさいの寺子屋」「愛西市の冬の行事・まつり」（201名参加）を実施した。

今後もアンケート結果をもとに講座内容を検討していく。

●町内会等が自主的かつ主体的に取り組む地域行事の実施に係る経費に対し、ふるさとづくり事業推進助成金を交付した。

助成件数

【R3】431件【R4】361件

●市内12校の小学校3、4年生を対象に年間を通じた地域社会の学習を実施した。

施策4-5 コミュニティ活動の 活性化

- ・実行委員会等が行う事業への支援
- ・ふるさとづくり推進事業 ・コミュニティ活動補助
- ・まちづくりや地域コミュニティの形成の推進
- ・市民活動支援公募事業補助

指標				
コミュニティセンターの延べ利用件数				
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）
9,676件	5,833件	7,147件	8,418件	10,800件

指標				
市民活動公募事業補助金申請件数				
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）
4件	6件	8件	8件	10件

指標				
地域活動に参加している市民の割合				
総合戦略策定時（H30年度）	R2年度（実績値）	R3年度（実績値）	R4年度（実績値）	R7年度（目標値）
22.2%（H28年度）	22.2%（H28年度）	24.6%（R3年度）	24.6%（R3年度）	28%

＝取組事項（R4）＝

●コミュニティセンターについては、新型コロナウイルス感染症の感染が落ち着き始め、活動が開催されたため、利用件数の増加につながった。

●市民活動支援公募事業については、愛西市広報・ホームページを活用して補助金の利用方法や、先行事例に関する情報発信を行った。

●コミュニティ組織の情報交換等の機会創出のため、コミュニティ連絡協議会を2回開催した。地域づくりの一環として市民協働ワーキングチーム会議に講師を招いて研修を行った。

●あいさいさん祭り来場者数

【R3】コロナにより中止【R4】6,000人

●地域づくりの講演会（参加者数）

【R2（隔年のため）】125人【R4】137人